



ビジネスレポート Vol. 5

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日

技術の翼と革新の心。
Wings of technology and spirit of innovation.

ときわ動物園(アジアの森林ゾーン)(山口県宇部市)

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

スペインでナイロン工場の能力を増強 ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

宇部興産株式会社

証券コード 4208

“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期の経済情勢は、米国では回復が続き、欧州でも持ち直しの動きが見られたものの、アジアでは中国で景気の拡大テンポが緩やかになるなど、世界経済は力強さを欠きました。一方国内経済は、消費税増税の影響もあり個人消費に伸び悩みがみられましたが、政府による各種政策の効果が下支えするなかで、企業部門に改善の動きがでるなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、2013年度から三カ年の中期経営計画「Change & Challenge - 更なる成長に向けて - 」の基本方針に基づき、構造的な事業環境の変化にもスピード感を持って対応すべく、各事業課題の解決に向け取り組んでまいりましたが、建設資材など非化学部門が順調に進捗している一方で、化学部門を取り巻く環境は依然として厳しい状況が継続しています。

この結果、当期における当社グループの連結業績は、売上高、営業利益は前年並みでしたが、経常利益、当期純利益は増益となりました。

なお、当期の期末配当は前期と同じ1株につき5円とさせていただきます。

当社グループは、「非化学部門が収益基盤を一層強化しながら、差別化された化学部門を成長の原動力として、グループ全体の成長を図っていく」という当社グループのあるべき姿を目指し、様々な施策を推進しています。変化の激しい各事業の戦略を見直すとともに、グローバル展開や徹底したコストダウンなど、これまでの取り組みを一層スピードアップすべく、本年4月の化成品・樹脂部門と機能品・ファイン部門の化学2部門統合による新体制の下、化学事業の早期建て直しに全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、当社グループでは「CSR（企業の社会的責任）は、社会的公器としての役割を果たすという、企業の経営そのものである」との認識に基づき、コンプライアンスおよびリスク管理等の充実による公正な企業活動を推進するとともに、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主の皆様や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山本 謙

UBEグループビジョン

UBEグループは「**共存同栄**」「**有限の鉱業から無限の工業へ**」という創業の理念を踏まえ、右記のグループビジョンを掲げ、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造しています。

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

2014

- 4月** 機械部門がメキシコ現地法人を設立し、営業開始
- 5月** 抗血小板剤「エフィント[®]」の国内販売を開始
- 6月** アレルギー性疾患治療剤「タリオン[®]」の小児適応追加を申請
- 6月** 「1DAY PAVE」が公共工事で初採用
- 7月** 「ユーエスパワー発電所」の営業運転を開始
- 8月** 堺工場内で機能膜(セパレーター)第2工場が完成
- 10月** メキシコ現地法人を設立
- 11月** 宇部興産機械(株)が東洋機械金属(株)と共同開発した中型ダイカストマシンを上市 **1**
- 11月** タイでPCD工場起工式
- 12月** 当社のナイロン樹脂がトヨタ「MIRAI」の高圧水素タンクに採用 **2**
- 12月** 中国電力と海外炭の共同輸送を開始

2015

- 1月** 大阪研究開発センター(仮称)の新設を決定 **3**
- 1月** LTO(チタン酸リチウム)の開発を加速
- 1月** 電解液合併会社を子会社化
- 2月** スペインでナイロン工場の能力を増強 **4**
- 3月** 山口宇部パワー(株)を設立 **5**
- 3月** 場所打ち杭用の新杭頭処理工法を共同開発
- 3月** 耐塩害・高耐久性コンクリート用混和材「クロロガード」を新発売 **6**
- 4月** 建材販売会社の三信通商(株)がUBEグループとして営業開始

topics

1

宇部興産機械(株)が東洋機械金属(株)と共同開発した中型ダイカストマシンを上市

宇部興産機械(株)と東洋機械金属(株)は、資本業務提携の成果として中型ダイカストマシン(UB-500iC)を共同開発しました。本機は新高剛性型締機構を新たに設計開発した最新鋭モデルであり、射出システムには宇部興産機械(株)が自社開発した電動サーボバルブを使ったリアルタイムフィードバックシステムを搭載するなど、高性能、高剛性、高コストパフォーマンスを実現しています。まずは中国国内で生産・販売を開始し、韓国・東南アジア・インドなどにも順次販売していきます。



topics

2

当社のナイロン樹脂がトヨタ「MIRAI」の高圧水素タンクに採用

当社とトヨタ自動車(株)は、燃料電池自動車の水素タンクライナー用ナイロン材料を共同開発しました。これを使った高圧水素タンクは、トヨタ自動車(株)が発売している燃料電池自動車「MIRAI」に搭載されています。この材料は優れた水素透過防止性能を持つだけでなく、水素ガスの充填や放出によるタンク温度の急激な変化に対する耐久性、極寒地域での耐衝撃性等についても極めて優れた性能を示しています。当社では高圧水素タンクライナーの適用材料として、グローバルな供給体制を整えていきます。



topics

3

大阪研究開発センター(仮称)の新設を決定

成長戦略事業である機能品の研究開発機能をさらに充実させるため、「大阪研究開発センター(仮称)」を来年7月に堺工場内に新設することを決定しました。電池材料をはじめとする機能品の製造拠点があり、顧客にも近い大阪地区に開設し、新しい手法で、新しい成果を出すことを目標にしています。要素技術研究～開発～生産技術までを一貫して、効率的かつ世の中の流れに即応した研究開発を行い、将来の新製品を創出する中心拠点としていきます。



topics

5

山口宇部パワー(株)を設立

当社、電源開発(株)および大阪ガス(株)は、当社所有地の宇部市西沖の山において、発電事業の検討および準備を進めるため、共同出資により、「山口宇部パワー(株)」を設立しました。1,200MW級(600MW級2基)の石炭火力発電設備の建設を計画しており、運転開始は2020年代前半の予定です。



topics

4

スペインでナイロン工場能力を増強

当社では、カプロラクタムの外販量を減らし、ナイロン原料として自社内での使用量を増やすことで、より付加価値を高めて販売しようとしています。食品包装用フィルム向けなどでのナイロン需要が旺盛なため、スペインのナイロン工場の製造能力を1万トン増強しました。これにより、UBEグループで製造しているカプロラクタムの半分以上を自社内で使用することが可能となりました。今後も、スペイン等での需要に応じるため、ナイロン製造能力の更なる増強を計画しています。



topics

6

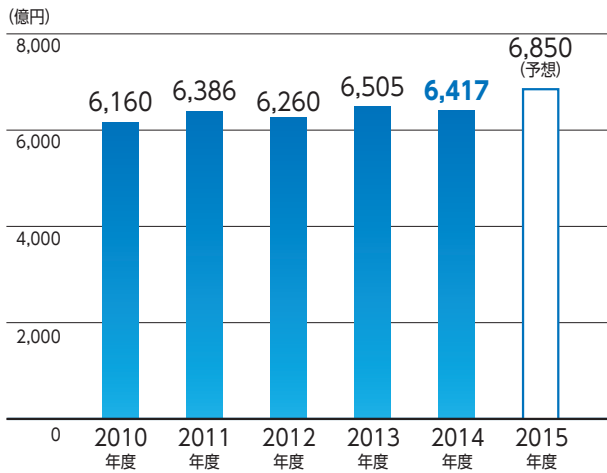
耐塩害・高耐久性コンクリート用混和材「クロロガード」を新発売

当社と日本興業(株)は、耐塩害・高耐久性コンクリート用混和材「クロロガード」を共同開発し、4月より当社が販売開始しました。「クロロガード」を、セメントなどに所定の量を混ぜることで、コンクリートの組織が緻密化し、塩化物浸透抵抗性、圧縮強度、乾燥収縮特性、凍結融解に対する抵抗性にも優れたコンクリートを製造することができます。これらの優れた特性をもったコンクリートは、臨海部で使用される構造物や、凍結防止剤の散布される構造物などに適しています。

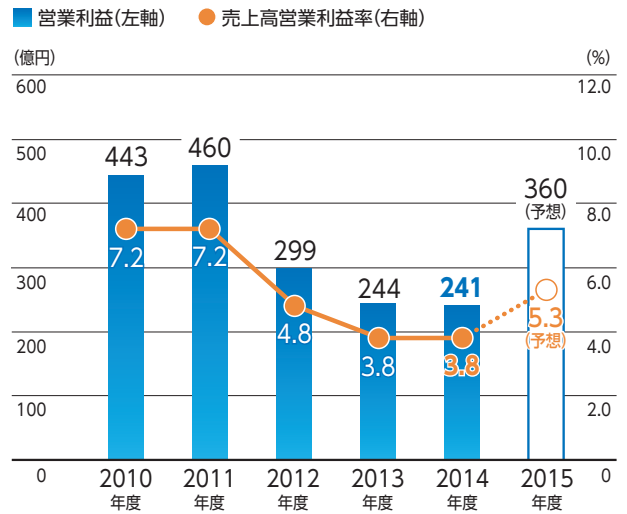


連結業績ハイライト

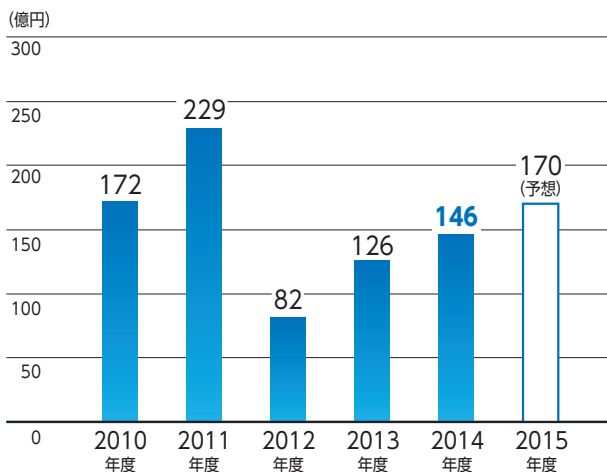
売上高



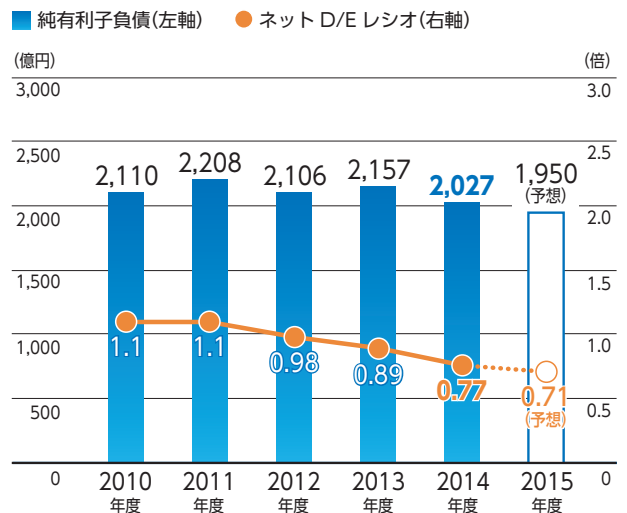
営業利益と売上高営業利益率



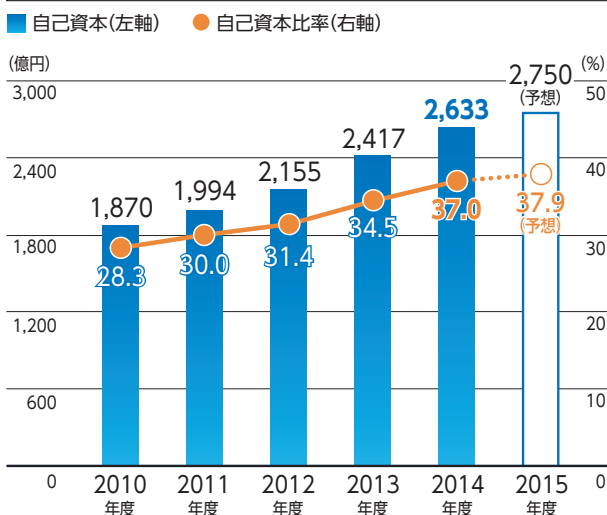
当期純利益



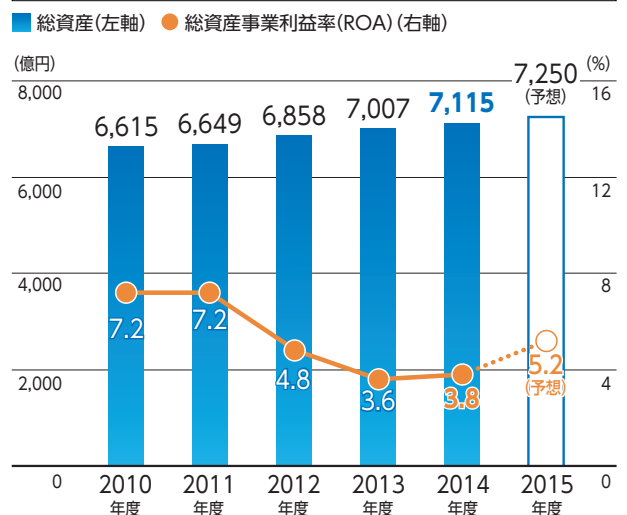
純有利子負債とネットD/Eレシオ*



自己資本と自己資本比率*



総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



*自己資本比率 = 自己資本 (=純資産-新株予約権-少数株主持分) / 総資産

*総資産事業利益率 (ROA) = 事業利益 (=営業利益+受取利息・受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2015年3月31日現在)

設立	1942 (昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,726人 (連結 10,702人)
連結対象会社	95社 (連結子会社71社、持分法適用会社24社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

役員 (2015年6月26日現在)

取締役		監査役	
取締役会長	竹下 道夫	常勤監査役	三宅 節郎
代表取締役社長	山本 謙	常勤監査役	久保田 隆昌
代表取締役	杉下 秀幸	監査役(社外)	落合 誠一
取締役	松波 正	監査役(社外)	須田 美矢子
取締役(社外)	草間 高志		
取締役(社外)	照井 恵光		
取締役(社外)	庄田 隆		
取締役(社外)	蔭山 真人		

株式の状況 (2015年3月31日現在)

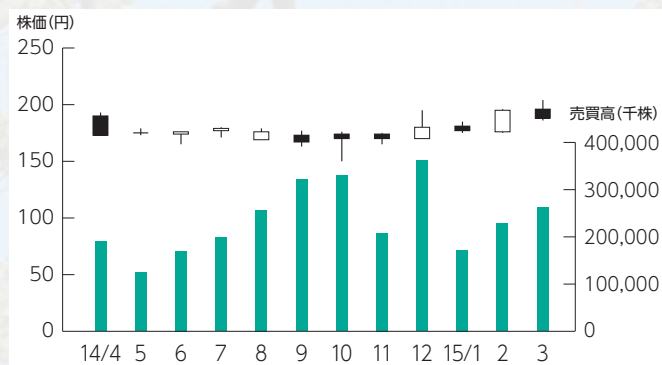
発行可能株式総数	3,300,000,000株
発行済株式総数	1,059,955,947株 (自己株式2,045,129株を除く)
株主数	80,142名

大株主(上位10名)

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	67,617	6.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	49,057	4.63
日本生命保険相互会社	20,000	1.89
住友生命保険相互会社	20,000	1.89
UNION BANCAIRE PRIVEE (EUROPE) SA	19,400	1.83
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	18,769	1.77
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	18,741	1.77
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR BLACKROCK GLOBAL ALLOCATION FUND, INC. 620313	18,046	1.70
株式会社山口銀行	15,482	1.46
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	15,037	1.42

(注)持株比率は、発行済株式総数から自己株式数(2,045,129株)を控除して算出しております。

株価及び出来高 (東京証券取引所)



配当金推移

1株当たり配当金

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

単元未満株式(当社では1~999株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

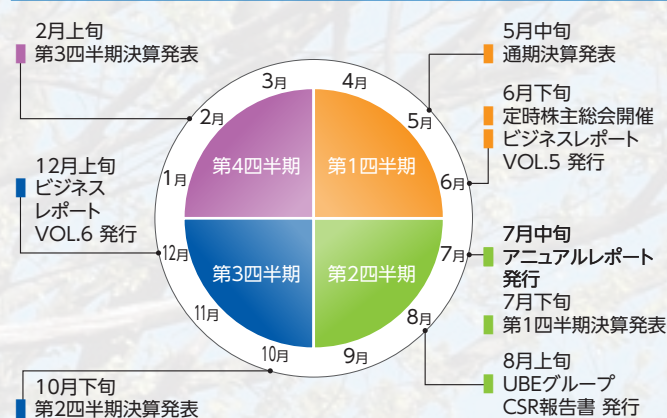
買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができ的手続きです。

買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

IRカレンダー (2015年6月~2016年5月)



宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



*本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

環境に配慮した古紙パルプ配合率70%再生紙と植物油インキを使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。